

第1学年

令和元年度

シラバス

科目	枚数
● 専門基礎科目	3
● 専門科目	18

赤門鍼灸柔整専門学校

臨床教育専攻科

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔共通〕－B (第1学年 火曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	テーマ：実践的臨床力の向上。 目標：臨床実習を通じて基礎的な東洋医学的知識と技術を身につける。 概要：①基礎的な知識・技術を活かせる応用力を身につける。 ②総合的な診断情報の収集と合理的な弁証論治の技術を身につける。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/10	1	治療手順および実技演習(座学と演習)
2		2	講師による治療の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
3	9/17	1	講師による治療の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
4		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上(以下、臨床実習)
5	9/24	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
6		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
7	10/8	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
8		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
9	10/15	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
10		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
11	10/29	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
12		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
13	11/12	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
14		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
15	11/26	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上

後 期

回	月 日		講 義 内 容
1 6	11/26	2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
1 7	12/3	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
1 8		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
1 9	12/10	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
2 0		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
2 1	12/17	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
2 2		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
2 3	1/7	1	総括と評価・点検

教科書	なし
参考書	なし
評価方法 評価基準	月曜午前分の臨床実習のレポートと合わせて総合的に判断する。

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅰ〔鍼灸療法〕（第1学年 火曜日 後期：3時限目）
担当講師	
講義の目標 講義の概要	テーマ：経絡・腧穴学基礎論 目標：①中医鍼灸臨床に必要な経絡システムを習得する。 ②正しい「WHO 標準経穴」の基礎知識を習得する。 概要：経絡と取穴の歴史と臨床に必要な知識を身に付ける。

授業計画

前期

回	月日	講義内容

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/10	経絡学総論(経絡の歴史と分類)
2	9/17	経絡学各論—その1(手足の太陰・陽明)
3	9/24	経絡学各論—その2(手足の少陰・太陽)
4	10/8	経絡学各論—その3(手足の厥陰・少陽)
5	10/15	経絡学各論—その4(奇経八脈・その他)
6	10/29	腧穴学総論①(腧穴の歴史と分類)
7	11/12	腧穴学総論②(骨度と要穴の概要)
8	11/26	腧穴学各論—その1(手太陰・手陽明・足陽明)
9	12/3	腧穴学各論—その2(足太陰・手少陰・手太陽)
10	12/10	腧穴学各論—その3(足太陽・足少陰)
11	12/17	腧穴学各論—その4(手厥陰・手少陽・足少陽)
12	1/7	腧穴学各論—その5(足厥陰・任脈・督脈)
13	1/14	腧穴学各論—その6(経外奇穴①)
14	1/21	腧穴学各論—その7(経外奇穴②)
15	2/4	評価点検

教科書	『WHO/WPRO 国際標準経穴部位—日本語公式版』(第二次日本経穴委員会訳、医道の日本社)¥4,500-(+税)
参考書	『ツボ単』(形井秀一ほか著、株式会社アヌ・ティー・エス刊)¥3,800-(+税)
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔鍼灸〕 (第 1 学年 火曜日 前期 : 1・2 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	1. 臨床で患者さんの施術を通じて、東洋医学的な診察、弁証、診断、治療法を体得すること 2. 患者さんの施術を通じて、診断、鑑別診断、治療、選穴などの臨床応変能力を習得すること

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	4/9		初診の患者さんに対応方法
2			患者さんの臨床治療を指導
3	4/16		東洋医学の四診と西洋医学の四診などに関して
4			患者さんの臨床治療を指導
5	4/23		臨床の検査方法など
6			患者さんの臨床治療を指導
7	5/7		診断と鑑別診断など
8			患者さんの臨床治療を指導
9	5/14		東洋医学と西洋医学の臨床治療の違いなど
10			患者さんの臨床治療を指導
11	5/21		東洋医学の臨床治療の有利性と手段など
12			患者さんの臨床治療を指導
13	5/28		東洋医学臨床治療の実際など
14			患者さんの臨床治療を指導
15	6/4		中医と東洋医学の臨床の実際など

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/4		患者さんの臨床治療を指導
17	6/11		患者さんの臨床治療を指導
18			患者さんの臨床治療を指導
19	6/18		患者さんの臨床治療を指導
20			患者さんの臨床治療を指導
21	6/25		患者さんの臨床治療を指導
22			患者さんの臨床治療を指導
23	7/2		患者さんの臨床治療を指導
24			患者さんの臨床治療を指導
25	7/9		患者さんの臨床治療を指導
26			患者さんの臨床治療を指導
27	7/16		患者さんの臨床治療を指導
28			患者さんの臨床治療を指導
29	8/6		評価・点検日（ ・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等）
30			評価・点検日（ ・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等）

教科書	
参考書	「中国針灸大全」、「針灸奇穴療法大全」「針灸学臨床篇」、
評価方法 評価基準	出席状況、学習態度、試験成績の総合評価。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論 I [鍼灸療法] (第 1 学年 火曜日 前期 : 3 時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	<p>テーマ : 実践鍼灸臨床マニュアルと中医基礎理論(蔵象学)</p> <p>目標 : ① 多種類の疾患にも適応できる即戦力的臨床システムをマスターする。 ② 中国哲学を広く理解することで、臨床に役立つ中医基礎理論を習得する。</p> <p>概要 : 東洋系鍼灸独自の生理観・治療観および治療の手順を身に付ける。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	管鍼術の方法とカルテの記載法
2	4/16	経絡治療的「肝実証」の鑑別診断とその臨床応用
3	4/23	不適応症の除外と治療方針の決定
4	5/7	上半身の臨床鑑別と標治法
5	5/14	概要と世界観(中医基礎理論①)
6	5/21	精気神論・陰陽五行説(中医基礎理論③)
7	5/28	経絡学総論(中医基礎理論⑤)
8	6/4	蔵象学総論(中医基礎理論⑦)
9	6/11	蔵象学各論①肝・胆(中医基礎理論⑨)
10	6/18	蔵象学各論②心・小腸・心包・膻中(中医基礎理論⑪)
11	6/25	蔵象学各論③脾・胃(中医基礎理論⑬)
12	7/2	蔵象学各論④肺・大腸(中医基礎理論⑮)
13	7/9	蔵象学各論⑤腎・膀胱・命門・三焦(中医基礎理論⑰)
14	7/16	蔵象学各論⑥奇恒の腑・その他の器官(中医基礎理論⑱)
15	8/6	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		/

教科書	『これからの「脈診」の話をしよう!!』(浦山玖蔵 著 ; たにぐち書店 2018 年刊)¥4,000-(+税)
参考書	なし
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ〔鍼灸療法〕（第1学年 火曜日 前期：4時限目）
担当講師	
講義の目標 講義の概要	テーマ：鍼灸臨床マニュアルおよび中医病証学をマスターする。 目標：① 実践的な弁証マニュアルを鍼灸臨床に生かす。 ② 現代中医学の弁証論治を理解し、合わせて鍼灸医学史の概要を学ぶ。 概要：臨床的診断技術と弁証学および鍼灸医学史を身に付ける。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/9	経絡治療の基礎と「四部脈診」の方法
2	4/16	経絡治療的「肝実証」の鑑別診断とその臨床応用
3	4/23	各病証と本治法の取穴
4	5/7	下半身の臨床鑑別と標治法
5	5/14	病因学・病機学(中医基礎理論②)
6	5/21	弁証学総論(中医基礎理論④)
7	5/28	八綱弁証・気血津液弁証(中医基礎理論⑥)
8	6/4	病邪弁証(中医基礎理論⑧)
9	6/11	六経弁証・外感温熱弁証(中医基礎理論⑩)
10	6/18	臓腑弁証①肝・胆(中医基礎理論⑫)
11	6/25	臓腑弁証②心・小腸(中医基礎理論⑭)
12	7/2	臓腑弁証③脾・胃(中医基礎理論⑯)
13	7/9	臓腑弁証④肺・大腸(中医基礎理論⑰)
14	7/16	臓腑弁証⑤腎・膀胱・命門・三焦(中医基礎理論⑱)
15	8/6	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・『図解 鍼灸療法技術ガイド(I・II)』(矢野忠ほか 編、光文堂 2012 年刊) I+II =¥17,000-(+税) ・『[詳解] 中医基礎理論』(浅川 要 監訳、東洋学術出版社 1997 年刊) ¥4,500-(+税)
参考書	なし
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第 1 学年 金曜日 後期 : 1・2 時限目)
担当講師	
授業の目標	施術者として必要な施術に関する知識と技能について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。
授業の概要	あん摩マッサージ指圧の意義と役割、施術者の心構え、衛生管理、施術室の管理、リスク管理など

授業計画

後 期

回	月日	時限	講義内容
1	9/13	1	オリエンテーション
2		2	あん摩マッサージ指圧の手技状況の確認
3	9/20	1	施術室の状況把握、衛生管理、リスク管理
4		2	施術の流れの確認 (問診、検査、施術、評価など)
5	9/27	1	(実践・実習)
6		2	(実践・実習)
7	10/18	1	(実践・実習)
8		2	(実践・実習)
9	10/25	1	(実践・実習)
10		2	(実践・実習)
11	11/1	1	(実践・実習)
12		2	(実践・実習)
13	11/15	1	(実践・実習)
14		2	(実践・実習)
15	11/22	1	(実践・実習)

後 期

回	月日	時限	講義内容
16	11/22	2	(実践・実習)
17	11/29	1	(実践・実習)
18		2	(実践・実習)
19	12/6	1	(実践・実習)
20		2	(実践・実習)
21	12/13	1	(実践・実習)
22		2	(実践・実習)
23	12/20	1	(実践・実習)
24		2	(実践・実習)
25	1/10	1	(実践・実習)
26		2	(実践・実習)
27	1/17	1	(実践・実習)
28		2	(実践・実習)
29	2/7	1	評価・点検日 (・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
30		2	評価・点検日 (・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)

「注」評価点検日欄にはどちらかに○を付けてください・

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	施術状況 (手技熟練度・施術の流れ・患者対応など) 出席状況、カルテなどの報告書の充実度などを考慮して評価する

平成31年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論 I (あん摩指療法) (第1学年 金曜日 後期: 3・4時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	<p>1. あん摩マッサージ指圧の臨床に応用する各種手技療法及び運動療法等に関する基礎的な知識と技術を修得する。</p> <p>2. それらを臨床の場で、正しく応用する能力と態度を養う。</p> <p>3. この分野を将来教授する場合の要点と指導法についても学習する。</p>

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/13	3	授業ガイダンス 医学の進展とモラルの変遷
2		4	あん摩マッサージ指圧の歴史とその種類
3	9/20	3	あん摩マッサージ指圧の意義と特徴
4		4	マッサージの効果とその応用
5	9/27	3	マッサージの基本手技 (実技実習を含む)
6		4	クリニカルマッサージの意義と、評価から治療へのアプローチ
7	10/18	3	筋筋膜トリガーポイントの発生機序と臨床応用
8		4	頭部、顔面部、頸部のクリニカルマッサージ
9	10/25	3	頭部、顔面部、頸部のトリガーポイント療法
10		4	肩部、胸部のクリニカルマッサージ
11	11/1	3	肩部、胸部のトリガーポイント療法
12		4	上肢部のクリニカルマッサージ
13	11/15	3	上肢部のトリガーポイント療法
14		4	背腰部・腹部のクリニカルマッサージ
15	11/22	3	背腰部・腹部のトリガーポイント療法

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/22	4	骨盤部・大腿部のクリニカルマッサージ
17	11/29	3	骨盤部・大腿部のトリガーポイント療法
18		4	下腿部・足部のクリニカルマッサージ
19	12/6	3	下腿部・足部のトリガーポイント療法
20		4	スポーツマッサージの基礎理論
21	12/13	3	症状別・競技別スポーツマッサージの理論と実技
22		4	スポーツ選手等に应用するテーピング法
23	12/20	3	リンパ浮腫に対するマッサージ、結合織マッサージ
24		4	ディープティッシュマッサージの理論と実技
25	1/10	3	併用する治療体操・物理療法、メディカルヨガ
26		4	高齢者の在宅訪問マッサージ、機能訓練指導員とその業務
27	1/17	3	認知症ケアとタクティールマッサージ
28		4	小児のマッサージ
29	2/7	3	美顔・美容マッサージ、腹部マッサージ
30		4	試験の評価 あま指療法の適応と禁忌及び臨床応用上の留意点

教科書	『クリニカルマッサージ』 医道の日本社 大谷素明 監訳 ¥6,696
参考書	『トリガーポイントと筋筋膜療法マニュアル』 医道の日本社 川喜多健司 訳 ¥4,860 『医療マッサージの基礎と応用』 金原出版 藤原實 著 ¥3,240
評価方法 評価基準	試験も行なうが、実技実習も重要なので、出欠や授業時間中の学習態度等を勘案して総合的に評価する。

※準備物：マッサージ用タルクなど、その都度指示する

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	あま指理論 (第 1 学年 金曜日 前期：3・4 時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	<p>一般目標：あま指治療に応用できる手技療法や施術時介助法等を実際に経験して、その必要性を理解し、患者さんに有効に応用することができる。</p> <p>：(1) 临床上多い症例へのあま指の手技を実践応用できるよう習得する。</p> <p>到達目標：(2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。</p> <p>：(3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。</p>

授業計画

前 期

回	月日	時限	講義内容
1	4/12	3	(オリエンテーション)講師・学生紹介、講義：あん摩、マッサージ、指圧の意義 実習：伏臥位での背部、腰部のあま指手技実技、現状実力の確認
2		4	講義：基本手技(軽擦法、圧迫法、叩打法) 実習：伏臥位での背部、腰部、殿部、下肢部等のあま指手技実技、叩打法・曲手練習
3	4/19	3	講義：基本手技(揉捏法、振せん法、運動法) 実習：伏臥位での腰殿部、大腿部、下腿部、足部のあま指手技実技、叩打法・曲手練習
4		4	講義：あん摩マッサージ指圧の禁忌症 実習：側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技①
5	4/26	3	講義：あん摩マッサージ指圧の適応症 実習：側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技②
6		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ①軽擦法の生理的作用 実習：側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技③
7	5/10	3	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ②強擦法の生理的作用 実習：側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技④
8		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ③揉捏法の生理的作用 実習：仰臥位で顔面部、肩上部、胸部、後頸部の実技①
9	5/17	3	講義：患者施術時のリスク管理① 緊急時対応の救急法(1) 心肺蘇生・AED 操作法 実習：心肺蘇生(胸骨圧迫、気道確保、人工呼吸、) AED操作法
10		4	講義：患者施術時のリスク管理② 緊急時対応の救急法(2) 止血法 実習：あま指による頭頸部、頸肩腕部の各部位の症状別治療法(肩凝り、五十肩)
11	5/24	3	講義：患者施術時のリスク管理③ 緊急時対応の救急法(3) 三角巾等包帯固定法 実習：あま指による頭頸部、頸肩腕部の各部位の症状別治療法(頭痛・めまい)
12		4	講義：患者施術時のリスク管理④ 緊急時対応の救急法(4) (簡易)担架搬送法 実習：あま指による四肢部位の症状別治療法(脳血管障害後遺症による片麻痺)
13	5/31	3	中間試験(実技試験①) 緊急時対応の救急法 心肺蘇生とAED操作法の実技等
14		4	評価・点検(実技試験①)
15	6/7	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ①介護原則、安全・安楽な更衣着脱介助 実習：仰臥位で顔面部、肩上部、胸部、後頸部の実技②

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/7	4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ④叩打法の生理的作用 実習：伏臥位にはならず、側臥位～仰臥位～座位での実技①
17	6/14	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ②安全・安楽な体位変換介助 実習：伏臥位～仰臥位～座位の総合実技①
18		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ⑤振せん法の生理的作用 実習：伏臥位にはならず、側臥位～仰臥位～座位での実技②
19	6/21	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ③安全・安楽な立ち上がり介助 実習：伏臥位～仰臥位～座位の総合実技②
20		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ⑥運動法の生理的作用 実習：あま指による関節痛に対する治療法（変形性関節症、リウマチ等）
21	6/28	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ④移乗（車椅子使用法）・移動介助 実習：あま指による全身症状に対する症状別治療（肉体・精神疲労、不眠症、冷え性）
22		4	講義：マッサージ等生体作用機転 実習：あま指による消化器系疾患に対する治療法（慢性胃腸病、常習性便秘）
23	7/5	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ⑤歩行（杖、歩行器使用）・移動介助 実習：あま指による脳疾患後遺症等による半身麻痺機能回復訓練（変形徒手矯正術）
24		4	講義：マッサージの治療効果 組織、器官に対する治療効果（1） 実習：あま指による外傷後療法（骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷）
25	7/12	3	講義：マッサージの治療効果 組織、器官に対する治療効果（2） 実習：あま指による坐骨、上肢、三叉、肋間神経痛等の神経痛に対する治療法
26		4	講義：マッサージの治療効果 臨床に応用する5作用 実習：あま指による腰痛症状に対する治療（骨・関節異常腰痛、外傷腰痛、内臓反射）
27	7/19	3	前期末試験（実技試験②） あん摩マッサージ指圧応用学総合実技
28		4	評価・点検（実技試験②）
29	8/9	3	総合評価・点検
30		4	あん摩マッサージ指圧手技及び応用学の指導法について ～今後のあり方を考える～（グループ討議）

教科書	講師準備の配布資料プリント等
参考書	「あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞」（医道の日本社）等の各位既所有品
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%）、 ・ 試験（筆記試験）（30%） ・ 試験（口頭試問＋実技試験）（40%）、 ・ レポート（10%）

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔共通〕－A (第1学年 月曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	
講義の目標	目標：実習を通じて鍼灸および按摩・マッサージ・指圧を臨床応用する上で必要な知識と技術を習得する。
講義の概要	概要：①臨床実習を通じて主要な徒手検査法による鑑別診断力を習得する。 ②臨床実習を通じて合理的で解り易い治療記録の記述法を習得する。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/9	1	治療手順および実技演習(座学と演習)
2		2	講師による治療の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
3	9/30	1	講師による治療の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
4		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上(以下、臨床実習)
5	10/7	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
6		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
7	10/21	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
8		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
9	10/28	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
10		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
11	11/11	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
12		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
13	11/18	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
14		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
15	11/25	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/25	2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
17	12/2	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
18		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
19	12/9	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
20		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
21	12/16	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
22		2	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上
23	1/6	1	総括と評価・点検

教科書	なし
参考書	『中医鍼灸の治法と処方』（邱茂良ほか編著、東洋学術出版社刊）¥4,600-(+税)
評価方法 評価基準	自分が関わった症例のカルテのうち、1症例の初診時および初回時と最近時のカルテのコピーを添付して、症例報告のレポートを提出する。その内容を評価基準とする。

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論 I [鍼灸療法] (第 1 学年 月曜日 後期 : 3 時限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	<p>テーマ : 中医診断学および鍼灸医学の歴史を学ぶ。</p> <p>目標 : ①中医診断学を学び、臨床的診断技術を身に付ける。 ②中国および日本を中心とした鍼灸医学の歴史を理解する。</p> <p>概要 : 四診の理論と方法、および日中の歴史的文献の内容を知る。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/9	中医診断学①(四診総論・問診学Ⅰ：一般)
2	9/30	中医診断学②(問診学Ⅱ：寒熱・発汗・食欲)
3	10/7	中医診断学③(問診学Ⅲ：五官・睡眠・二便)
4	10/21	中医診断学④(問診学Ⅳ：婦人科・小児科)
5	10/28	中医診断学⑤(舌診学Ⅰ：舌形・舌態)
6	11/11	中医診断学⑥(舌診学Ⅱ：舌質・舌苔)
7	11/18	中医診断学⑦(脈診学Ⅰ：脈状診・祖脈診)
8	11/25	中医診断学⑧(脈診学Ⅱ：六部定位脈診)
9	12/2	中国鍼灸医学史①(古代)
10	12/9	中国鍼灸医学史②(中世・近世)
11	12/16	日本鍼灸医学史①(古代・中世)
12	1/6	日本鍼灸医学史②(近世)
13	1/20	近現代鍼灸医学史①(19世紀)
14	1/27	近現代鍼灸医学史②(20世紀)
15	2/10	評価・点検

教科書	なし
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・『全訳中医診断学』(王 憶勤 主編・浅野 周 訳；たにぐち書店 2007 年刊) ¥ 4,500(+税) ・『針灸の歴史—悠久の東洋医術[あじあブックス]』(小曾戸洋ほか著、大修館書店 2015 年刊) ¥ 1,800(+税)
評価方法 評価基準	<p>期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔鍼灸〕 (第 1 学年 月曜日 前期：1・2 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	<p>1. よりよく患者を理解するために、医療面接(良好なコミュニケーションの構築)</p> <p>を習得する</p> <p>2. 鍼灸師が行える診察法(方法・カルテの書き方)を習得する。</p> <p>3. 病態から適応・不適応を鑑別し、各疾患に対する選穴・取穴・手技が出来るよう学習する。</p>

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	4/8	1	治療環境・医療面接・カルテの書き方
2		2	治療環境・医療面接・カルテの書き方
3	4/15	1	カルテ作成・書き方・病態の把握
4		2	カルテ作成・書き方・病態の把握
5	4/22	1	カルテ作成・書き方・病態の把握
6		2	カルテ作成・書き方・病態の把握
7	5/13	1	臨床実習
8		2	臨床実習
9	5/20	1	臨床実習
10		2	臨床実習
11	5/27	1	臨床実習
12		2	臨床実習
13	6/3	1	臨床実習
14		2	臨床実習
15	6/10	1	臨床実習

--	--	--	--

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/10	2	臨床実習
17	6/17	1	リンパドレナージュ講義・実技
18		2	リンパドレナージュ講義・実技
19	6/24	1	臨床実習
20		2	臨床実習
21	7/1	1	臨床実習
22		2	臨床実習
23	7/8	1	臨床実習
24		2	臨床実習
25	7/22	1	臨床実習
26		2	臨床実習
27	7/29	1	臨床実習
28		2	臨床実習
29	8/5	1	評価・点検日（ ・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等）
30		2	評価・点検日（ ・ 患者受入れ、 ・ 症例発表等）

「注」評価点検日欄にはどちらかに○を付けてください。

教科書	学内で推奨されている教科書，配付資料
参考書	学内で推奨されているもの，或いは学生の興味のあるものにて対応
評価方法 評価基準	履修内容順に講義を進行する。ただし，学生の能力に応じて変更有り。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	リハビリテーション医学 (第 1 学年 月曜日 前期 : 3 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	わが国のリハビリテーション医学・医療の歴史を簡単にふり振り返りつつ、専門家の臨床経験報告や症例を通して、当分野の現代的問題点と課題を学ぶ。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/8	進め方、評価法 1. 日本を中心とするリハビリテーション (以下リハ) 医学・医療の歴史
2	4/15	2. 臨床医学的データの扱い方・読み方
3	4/22	3. リハの諸問題 ①臨床リハの問題点
4	5/13	②医療安全とリスク管理
5	5/20	③運動学的障害のリハ
6	5/27	④早期リハの問題
7	6/3	⑤腎臓リハの問題
8	6/10	4. 歩行障害と疾患例 (1) Dr. 三好の考え方
9	6/17	(2) 〃
10	6/24	(3) 〃
11	7/1	(4) 〃 <作業課題提示>
12	7/8	(5) 〃
13	7/22	5. 維持期リハと高齢者
14	7/29	作業課題解答
15	8/5	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	佐藤 捷：社会医学特論（リハビリテーション医学）参考資料集、2015（配布）
参考書	1. 三好正堂：新版・間違いだらけのリハビリテーション、現代書林 2017 2. 亀田メディカルセンター：リハビリテーションリスク管理ハンドブック、改2版、メディカルビュー社、2012
評価方法 評価基準	(イ) 質疑応答 (ロ) 作業課題、小テスト

成 31 年度 東洋療法教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔鍼灸〕 (第 1 学年 水曜日 後期：3・4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	目標：鍼灸刺激のエビデンスから効果的な診療を学修する。 概要：鍼灸刺激のエビデンスから臨床効果を考慮した治療方針を立て、 効果的な施術とその評価を考察する。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/11	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
2		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
3	9/18	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
4		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
5	9/25	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
6		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
7	10/9	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
8		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
9	10/16	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
10		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
11	10/23	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
12		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
13	10/30	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
14		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
15	11/13	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/13	4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
17	11/27	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
18		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
19	12/4	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
20		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
21	12/11	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
22		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
23	1/8	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
24		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
25	1/15	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
26		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
27	1/22	3	試験日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
28		4	試験日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
29	2/5	3	評価・点検日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
30		4	評価・点検日 (・ 患者受入れ、 ○ 症例発表等)

教科書	『図解 鍼灸療法技術ガイド(Ⅰ・Ⅱ)』(矢野忠ほか編、光文堂刊)各々¥8,500(税引)
参考書	
評価方法 評価基準	診療状況(問診、治療、記録、結果)を通して総合評価する。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（鍼灸療法）（第1学年 水曜日 前期：3・4時限目）
担当講師	
授業の目標	目標：経絡治療を行うために必要な東洋医学的基礎診断法を習得する。
授業の概要	概要：経絡治療における生理・病理を理解する。 病態把握・治療方針の立証、治療の流れを理解し把握する。 病理理論に基づいて、治療を行う上で必要とされる技術を習得する。

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/10	3	経絡治療概論（オリエンテーション）
2		4	基礎概論
3	4/17	3	臓象 ① 肝
4		4	臓象 ② 心
5	4/24	3	臓象 ③ 脾
6		4	臓象 ④ 肺
7	5/8	3	臓象 ⑤ 腎
8		4	病因（内因・外因・不内外因）
9	5/15	3	病理 ① 肝
10		4	病理 ② 脾
11	5/22	3	病理 ③ 肺
12		4	病理 ④ 腎
13	5/29	3	診断技術（望聞問切）
14		4	治療（本治法・標治法）
15	6/5	3	経絡治療の流れ

前期

回	月 日	時限	講義内容
16	6/5	4	実力テスト（基礎編）
17	6/12	3	肝の生理・病理
18		4	脾の生理・病理
19	6/19	3	肺の生理・病理
20		4	腎の生理・病理
21	6/26	3	主要症候に対する鍼灸治療 ①体質別治療
22		4	主要症候に対する鍼灸治療 ②老人・小児の治療
23	7/3	3	主要症候に対する鍼灸治療 ③頭部の治療
24		4	主要症候に対する鍼灸治療 ④頸・肩周辺の疾患
25	7/10	3	主要症候に対する鍼灸治療 ⑤腰周辺の疾患
26		4	主要症候に対する鍼灸治療 ⑥下腿の病
27	7/17	3	主要症候に対する鍼灸治療 ⑦呼吸器の病
28		4	主要症候に対する鍼灸治療 ⑧消化器の病
29	8/7	3	経絡治療の実際
30		4	評価点検

教科書	日本鍼灸医学 基礎編（経絡治療学会編）¥ 5,400（税引） 日本鍼灸医学 臨床編（経絡治療学会編）¥10,000（税引）
参考書	臓腑経絡からみた漢方と鍼灸 第二巻（たにぐち書店）¥7,000（税引） 臓腑経絡からみた漢方と鍼灸 第五巻（たにぐち書店）¥8,095（税引） 脈診習得法（MAM）（医師薬出版株式会社）¥4,200（税引） 1人で学べる脈診習熟ノート（上・下）（たにぐち書店）¥7,000（税引）
評価方法 評価基準	症例から経絡治療における病理考察ができる。授業への出席・態度 試験結果 60% 出席状況 30% 授業態度 10%

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論 I (あま指療法) (第 1 学年 水曜日 全期 : 1 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	関節の動きを知る、関節モビライゼーション直接法を知る 関節モビライゼーション間接法を知る その他の手技療法を知る 物理療法を知る

授業計画

前 期

回	月 日	義 内 容
1	4/10	関節モビライゼーション、直接法、ノンスラスト法について
2	4/17	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、手関節、手部の動き
3	4/24	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、肘関節の動き
4	5/8	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、肩関節の動き
5	5/15	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、足関節、足部の動き
6	5/22	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、膝関節の動き
7	5/29	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)、股関節
8	6/5	関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
9	6/12	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
10	6/19	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
11	6/26	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
12	7/3	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
13	7/10	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
14	7/17	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法 (理論含む)
15	8/7	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/11	関節モビライゼーション、間接法について
17	9/18	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
18	9/25	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
19	10/9	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
20	10/16	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
21	10/23	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
22	10/30	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
23	11/13	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
24	11/27	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
25	12/4	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
26	12/11	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
27	1/8	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
28	1/15	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
29	1/22	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
30	2/5	評価・点検

教科書	ノンスラストによる関節モビライゼーション（緑書房、4104円・税込み）
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験 65点以上 合格

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	鍼灸理論 (第 1 学年 水曜日 全期：2 限目)
担当講師	
講義の目標 講義の概要	基礎的な理論を元に古代から現代への移いと対比し乍ら鍼灸治療の効果を (WHO) と統合医療としても歩みだしている。鍼灸師も参画し、理論を通して特殊鍼灸等中心に応用 (手技) が出来る様指導。 ※特殊鍼灸等中心に

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/10	鍼灸の沿革
2	4/17	日本における鍼灸術の起源
3	4/24	伝統的な指針技術・施灸技術と用具
4	5/8	鍼術の定義・灸術の定義
5	5/15	現行刺鍼の方法 (管鍼法、撚鍼法、打診法)
6	5/22	現行刺鍼の方法 (代表的な刺鍼手技)
7	5/29	現行刺鍼の方法 (補瀉の術・刺鍼時の感覚)
8	6/5	古代刺鍼手技の臨床応用 (九鍼について)
9	6/12	九鍼の応用
10	6/19	〃
11	6/26	中国の刺鍼手技
12	7/3	施灸の基本手技
13	7/10	直接灸・間接灸その他施灸の応用
14	7/17	直接灸・間接灸その他施灸の応用
15	8/7	総合評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1 6	9/11	新しい鍼・灸療法（低周波鍼通、電療基本と応用）
1 7	9/18	新しい鍼・灸療法（TENS・SSP の応用）
1 8	9/25	新しい鍼・灸療法（良導絡療法への応用）
1 9	10/9	新しい鍼・灸療法（小児鍼法について）
2 0	10/16	新しい鍼・灸療法（皮内鍼法について）
2 1	10/23	新しい鍼・灸療法（灸頭鍼法について）
2 2	10/30	鍼灸の治療の適応症・禁忌症
2 3	11/13	鍼灸の治療的作用（鎮痛作用）
2 4	11/27	鍼灸の治療的作用（消化機能に及ぼす作用）
2 5	12/4	鍼灸の治療的作用（内臓機能に及ぼす作用）
2 6	12/11	鍼灸の治療的作用（循環機能の及ぼす作用）
2 7	1/8	鍼灸の治療的作用（筋血流・四肢抹消循環に及ぼす作用）
2 8	1/15	鍼灸の治療的作用（神経血流・脳血流に及ぼす作用）
2 9	1/22	鍼灸の治療的作用（神経血流・脳血流に及ぼす作用）
3 0	2/5	評価・点検

教科書	『図解 鍼灸療法技術ガイド（Ⅰ・Ⅱ）』（矢野忠ほか編、光文堂刊）各々 ¥8,500（税引）
参考書	
評価方法 評価基準	授業態度・取組の熱意 実施応用と筆記試験の総合評価

平成31年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第1学年 木曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	あま指治療に用いる手技療法や施術時介助法等を実際に実施して、その必要性を理解し、患者さんに有効に施術治療サービス提供することができる。 (1) 临床上多い症例へのあま指の手技を実践施術治療できるよう習得する。 (2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。 (3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。

授業計画

後 期

回	月日	時限	講義内容
1	9/12	1	講義：あん摩マッサージ指圧の治療の実際と手順について（オリエンテーション） 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
2		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
3	9/19	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
4		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
5	9/26	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
6		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
7	10/10	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
8		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
9	10/17	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
10		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
11	10/24	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
12		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
13	10/31	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
14		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
15	11/14	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/14	2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
17	11/28	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
18		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
19	12/5	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
20		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
21	12/12	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
22		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
23	12/19	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
24		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
25	1/9	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
26		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
27	1/16	1	試験日 (・ <u>患者受入れ</u> 、 ・ 症例発表等)
28		2	試験日 (・ <u>患者受入れ</u> 、 ・ 症例発表等)
29	2/6	1	評価・点検日 (・ <u>患者受入れ</u> 、 ・ 症例発表等)
30		2	評価・点検日 (・ <u>患者受入れ</u> 、 ・ 症例発表等)

「注」試験日、評価点検日欄にはどちらかに○を付けてください。

教科書	「あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>」(医道の日本社)等
参考書	配布資料プリント等
評価方法 評価基準	授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢 (20%) 試験(筆記試験)または(口頭試問+実技試験)・レポート (50%) 臨床実習時における治療施術後の患者様満足度モニタリング (30%)

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床医学各論 (第 1 学年 木曜日 後期 : 4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	① 高齢者の特有な病態、診断、治療についての理解 ② トピック的なテーマの解説 ③ DVD 視聴により授業内容を深める。

授業計画

後 期

回	月 日	講義内容
		\

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/12	高齢者の消化器系腫瘍－1
2	9/19	高齢者の消化器系腫瘍－2
3	9/26	骨・運動器疾患
4	10/10	内分泌・代謝疾患－1
5	10/17	内分泌・代謝疾患－2
6	10/24	血液・免疫疾患－1
7	10/31	血液・免疫疾患－2
8	11/14	血液・免疫疾患－3
9	11/28	腎・泌尿器疾患－1
10	12/5	腎・泌尿器疾患－2
11	12/12	感染症－1
12	12/19	感染症－2
13	1/9	皮膚疾患
14	1/16	眼疾患
15	2/6	評価・点検

教科書	飯島 節 鳥羽研二 編集「老年学テキスト」 南江堂
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験を行い、その成績により評価する。 必要に応じてレポート課題

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第1学年 木曜日 前期：1・2時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	施術室への患者の誘導法、問診の仕方を知る 時間内での全身マッサージ、局所マッサージ法を知る 診察法と治療法を知る症例別の鑑別、適応、禁忌を知る 症例別の鑑別、適応、禁忌を知る

授業計画

前 期

回	月日	時限	講義内容
1	4/11	1	医療面接等で患者の誘導法、問診法を覚える
2		2	医療面接等で患者の誘導法、問診法の進め方を覚える
3	4/18	1	医療面接等で患者の誘導法、問診法の進め方を覚える
4		2	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
5	4/25	1	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
6		2	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
7	5/9	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
8		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
9	5/16	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
10		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
11	5/23	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
12		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
13	5/30	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
14		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
15	6/6	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/6	2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
17	6/13	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
18		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
19	6/20	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
20		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
21	6/27	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
22		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
23	7/4	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
24		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
25	7/11	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
26		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
27	7/18	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
28		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
29	8/8	1	評価・点検日（ ○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等）
30		2	評価・点検日（ 患者受入れ、 ・○ 症例発表等）

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	問診票、カルテ、主訴等からの病態把握 (25) 治療方針の決定、治療 (25) 鑑別診断の適切な説明 (25) 症例報告(25)

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床医学総論 (第 1 学年 木曜日 前期 : 4 時限目)
担当講師	
授業の目標 授業の概要	① 高齢者の生理的特徴、特有な病態、診断、治療についての理解 ② 最近話題のテーマの解説 ③ DVD 視聴により授業内容を深める。

授業計画

前 期

回	月 日	講 義 内 容
1	4/11	加齢変化と老年病 (I) 生物学的・社会医学的側面
2	4/18	加齢変化と老年病 (II) 運動・感覚機能
3	4/25	加齢変化と老年病 (III) 精神・自律機能
4	5/9	老年症候群
5	5/16	神経・精神疾患－ 1
6	5/23	神経・精神疾患－ 2
7	5/30	循環器疾患－ 1
8	6/6	循環器疾患－ 2
9	6/13	呼吸器疾患－ 1
10	6/20	呼吸器疾患－ 2
11	6/27	救急医療の実践
12	7/4	消化器疾患－ 1
13	7/11	消化器疾患－ 2
14	7/18	消化器疾患－ 3
15	8/8	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	飯島 節 鳥羽研二編「老年病テキスト」 南江堂
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験を行い、その成績により評価する 必要に応じてレポート課題

平成 31 年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（あま指療法）（第1学年 木曜日 全期：3時限目）
担当講師	
授業の目標 授業の概要	トリガーポイント療法を知る 筋肉の伸張法を知る 運動器疾患、マッサージ・指圧、モビライゼーション直接法、間接法、 運動法、伸展法の指導法（治療法）を知る

授業計画

前 期

回	月 日	義 内 容
1	4/11	トリガーポイント療法、筋伸張法について
2	4/18	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
3	4/25	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
4	5/9	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
5	5/16	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
6	5/23	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
7	5/30	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
8	6/6	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
9	6/13	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
10	6/20	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
11	6/27	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
12	7/4	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
13	7/11	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
14	7/18	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
15	8/8	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1 6	9/12	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 7	9/19	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 8	9/26	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 9	10/17	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 0	10/24	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 1	10/31	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 2	11/14	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 3	11/28	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 4	12/5	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 5	12/12	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 6	12/19	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 7	12/26	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 8	1/9	運動器疾患の症状、治療法の検討
2 9	1/16	運動器疾患の症状、治療法の検討
3 0	2/6	評価・点検

教科書	プリント
参考書	ノンスラストによる関節モビライゼーション2（緑書房）
評価方法 評価基準	筆記試験 65 点以上 合格

「注」教科書欄は学生に購入させたい教科書名、著者名、出版社、単価等の記入をお願い致します。